

厳しい自然環境に耐え抜いて

新嘗祭献穀「抜穂祭」

9/19

宮中祭祀の^{にいなめさい}新嘗祭に献上する新米の^{ぬい}「抜穂祭」(収穫)が「献穀田」として指定された更新の岡田聖人さん所有の水田で執り行われました。

「献穀田」は毎年北海道で2カ所選ばれ、今年度10年ぶりに北いぶき農協が選ばれました。

この日農業関係者など約70名が見守る中、「お田植祭」から約4か月を経て実った稲穂を早乙女姿の女性6名によって一株ずつ丁寧に刈取りました。

耕作長の北いぶき農業協同組合 篠田雅代表理事組合長から「台風や地震等の自然環境が厳しい中、無事に抜穂祭を迎えることができ大変うれしく思います。献上米として届けるまで、地域の思いを背負って献穀田としての責任を果たしていきます。」と述べられました。

今回収穫した献穀米は10月下旬に岡田夫妻が皇居へ出向き献納する予定です。



食を学ぶ

メロンの収穫体験

9/21

沼田小学校(疋田博和校長)の4年生が6月に定植したメロンの収穫体験学習を行いました。

この収穫体験は町内の農家女性により結成された「農天気の家(藤村富士子代表)」が主催し、子どもたちに食べ物の作られる過程、食べ物を大切にすることで生き物へのやさしい心を養ってもらうことを目的に毎年実施しています。

収穫したメロンを学校へ持ち帰り試食した児童からは「甘くて美味しい」と声があがり、定植から収穫まで体験したメロンの出来映えを実感していました。



農業の喜びを感じて

稲刈り体験

9/27

沼田小学校(疋田博和校長)の5年生が稲刈りの農業体験学習を行いました。児童たちは慣れない鎌を使って手作業で稲刈りを行い、田植えから収穫までの大変さを実感していました。

収穫した稲は小学校校舎横に「はさがけ」を行い、脱穀されてから児童たちに配られます。



健康は手洗いから

第4回暮らしの保健室「手洗いチェック教室」

9/28

暮らしの安心センターで、花王プロフェッショナル・サービス株式会社から二人の講師を招き、暮らしの保健室講演会が行われ、「手洗いチェック教室」として正しい手洗いの仕方を実践を交えて紹介していただきました。

小学1・2年生も授業として参加し、日頃からの手洗いの大切さを学び、洗い方を再確認しました。手洗いは子どもから高齢の方まで誰でも簡単にでき、正しく行うことで自分自身を守れるということを理解できる機会となりました。



秋を感じて

第23回紅葉まつり

10/7

ほろしん温泉ほたる館において、第23回紅葉まつりが開催されました。

台風接近により、あいにくの天気で会場を車庫に移し開催され、ミニゲーム大会や抽選会、歌謡ショーが行われました。来場された方たちはジンギスカンやきのご汁などを食べながら、訪れた秋を存分に味わいました。



世界の博士が大集合

化石体験館 10周年化石博士集合

10/8

ほろしん温泉ほたる館において、沼田町化石体験館開館10周年記念事業シンポジウム「化石博士集合」が行われました。

沼田町化石館の学芸員として勤務されていた田中嘉寛氏より「クジラ・イルカ」、「タカハシホタテ」、ヌマタカイギュウ復元など本町の学芸員として功績を残された古沢仁氏より「カイギュウ」、世界で活躍されている小林快次氏から「恐竜」についてお話をしていただき、道内各地から集まった参加者は、生物の進化の過程や最新の化石の情報など、それぞれの分野での「博士」からの講演に聞き入っていました。



元気いっぱい披露

沼田小学校学習発表会

10

13

沼田小学校（足田博和校長）で「輝け 沼田っ子！ 平成最後の感動のステージ」をテーマに学習発表会が開催されました。

会場の体育館には保護者をはじめ、おじいちゃんおばあちゃんなど家族の皆さんが大勢つめかけ、1年生による「はじめのことば」から学習発表会が始まりました。各学年や複数学年で練習してきた合唱や演奏、劇など学習の成果が発表されると、会場からは大きな拍手や歓声が沸いていました。



▲【1年生】初めての発表会、緊張しながらも元気に踊りました。



▲【2年生】みんな大きな声で演技しました。



▲【3年生】息の合ったダンスを披露！



▲【4年生】「ねむた地蔵・おきた地蔵」を熱演！



▲【5年生】人気のDA PUMP「U・S・A」を披露、会場を盛り上げてくれました。



▲【6年生】小学校生活最後の発表会、役に成りきった最上級生らしい演技でした。

地域経済を沼田町で学ぶ

明治大学インターンシップ

9月17日（月）から19日（水）の3日間、明治大学から37名の学生が来町しました。

沼田町の地域経済について学ぶため、農業関係者や町民の方との意見交換・農業体験等を行い、地域の現状や課題について考えました。

インターンシップの最後には地域づくりの提案をまとめ、沼田町の良いところや農業の活性化・移住定住の情報発信などについてグループごとに発表しました。



ぬまたで働く

しごと・未来応援プロジェクト事業

9月25日（火）から28日（金）の4日間、クラーク記念国際高校（深川市）の生徒20名が町内の事業所・施設でインターンシップを行いました。

この事業（しごと・未来応援プロジェクト事業）は今年度新たにに取り組む事業で、町内の事業所に一人でも多くの若者に働いてもらう事を目的として、7月に同校で合同企業説明会を開催しており、今回5事業所・施設等で受け入れを実施しました。



認定こども園では多くの子どもたちと触れ合いながら保育・教育を学び、介護施設では高齢者の方の介護業務を体験するなど、それぞれの分野での業務に積極的に取り組みました。

また、10月3日（水）には、沼田中学校（米倉卓司校長）の2年生が職場体験を実施する同事業の「キャリア教育」を行いました。それぞれの職場で真剣に取り組む「生徒」と丁寧なプロの現場を体験させようとする「事業所・施設」の方々の温かい対応に有意義な一日となりました。



【受入事業所】

○クラーク記念国際高校

- ・株式会社 菱農
- ・沼田認定こども園

- ・北いぶき農業協同組合
- ・町介護施設（和風園・デイサービスセンター）

○沼田中学校2年生

- ・馬狩建設
- ・Kei美容室
- ・沼田オート
- ・近藤歯科医院
- ・町介護施設（和風園）

- ・北空知広域水道事業団
- ・ほろしん温泉ほたる館
- ・沼田町農産加工場
- ・しのき整骨院
- ・沼田認定こども園